

京都市 農林業だより

発行 京都市産業観光局農林振興室農政企画課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地 電話 (075) 222-3351

今年は洛西で開催予定！
京の農林秋まつり



日時

平成26年11月8日（土）

午前9時45分～午後3時

場所

境谷公園

(西京区大原野東境谷町ラッセーヌ西隣)

本催しは、京都市の農林業を市民の方々に身近に感じていただき、農林業の大切さを広く啓発するため、実行委員会と京都市で開催しているものです。

今年度は、洛西にある境谷公園で開催する予定です！初めての会場となりますが、農林家の皆様とともに盛り上げていきたいと考えていますので、今年度も皆様のご協力をよろしく願います。



第45回花と緑の市民フェア盛大に開催！

関係団体の皆様のご協力のもと、おかげさまで約2万5百人の方にご来場いただきました。

今回は子供たちに人気のアニメ「はなかつぱ」のキャラクターショーを初めて実施しました。訪れた子供たちは夢中になって観劇し、終了後は一緒に写真を撮って楽しんでおられました。例年より多くの若い世代に來場していただき、花と緑に触れ、購入していただく良いきっかけとなりました。

他にも花や緑の魅力が感じられるステージイベントやカルチャー教室、花苗や切花などの即売が行われ、来場者は来て見て買って楽しむことのできる充実した催しとなりました。



©2010 あきやまただし / はなかつぱプロジェクト

4月19日（土）・20日（日）に、京都市勧業館みやこめっせにおいて「京・ゆめ・花文化」古都に咲く花と緑の夢空間」をテーマに「第45回花と緑の市民フェア」を開催しました。



京都市特定間伐等促進計画について

京都市は、昨年10月に特定間伐等促進計画を策定し、平成25年から平成32年までの8年間で合計7,120ヘクタール（年平均890ヘクタール）の間伐実施を目標に定めたところです。

今年度以降においても、本計画及び森林経営計画に基づき、適正に森林を整備していきます。



☆森林を所有されている皆さまへ

特定間伐等促進計画に、皆さまが所有されている森林における施業の計画を掲載することで、植林や保育等の森林施業に対して造林補助金制度を利用することができます。

京都市では、年に数回の計画変更の機会を予定していますので、補助金を活用して山の手入れを考えておられる場合には、実際に作業に入る前に、林業振興課又は京北農林業振興センター、あるいはお近くの森林組合に必ずご相談ください。

京都市の森林、林業をとりまく状況は依然として厳しいものがありますが、この特定間伐等促進計画をご活用いただき、積極的な森林整備を進めてくださ

問合せ先
林業振興課
Tel 075-222-3346
京北農林業振興センター
Tel 075-852-1817

農薬は農薬ラベルをよく読んで使いましょう

農薬の使用に当たっては、その薬剤の登録内容をよく理解し、適正に使用する必要があります。

【登録番号】

登録のない農薬は使えません。

【用途及び商品名】

商品名が異なっても同じ有効成分が含まれる場合があるので、総使用回数には注意しましょう。

【適用表】

対象作物、希釈倍数・使用量、使用時期、総使用回数は必ず守らなければなりません。

【安全使用上の注意】

周辺環境への配慮や作業時の安全確保に役立てましょう。

【最終有効年月】

（西暦下2桁、月）で示されます。これを越えたものは使用しないようにしましょう。

【栽培履歴の保管】

最後に必ず！

農薬の使用日、農薬名、使用量を記録し、保存しましょう。

殺菌剤
〇〇〇〇〇〇〇〇
△△△△水和剤

農水省登録
第〇〇〇〇〇号

【成分】・・・・・・・・・・
【性状】・・・・・・・・・・乳化油状液体

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール 当り使用 液量(L)	使用時期	本剤の 使用回数	〇〇〇を含む 農薬の 総使用回数	使用方法
かぶ	アブラムシ類	1000倍	100～300L	14日前まで	4回以内	4回以内	散布
キャベツ	アオムシ	1000倍	100～300L	前日まで	5回以内	5回以内	散布
	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300L	14日前まで	6回以内	6回以内	散布

適用害虫と使用方法

【効果・薬害等の注意】
・〇〇〇〇に対しては、薬害を生ずるおそれがあるので注意してください。
・〇〇〇〇・・・・・・・・・・

【安全使用上の注意】
・本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。
・〇〇〇〇・・・・・・・・・・

最終有効年月 14. 08

京のお米で京のお酒を

日本酒は日本人の主食であるお米を原料とし、私たちの生活に深く根差し、様々な味・文化を生み出してきました。最近では、京都市を皮切りに日本各地で「乾杯条例」が制定されるほか、地酒ブーム、和食の世界遺産登録など、日本酒を盛り立てる機運が高まっています。

このような中、京都に数ある酒蔵でも京都にこだわったお酒づくりを目指し、京都産の酒造好適米や酒造適性のある加工米（※）の増産が要望されています。

また、お酒やお米づくりを通じた消費者・酒蔵・生産者の交流や、地域の活性化も図られています。

京都市では、各地区の酒米栽培や、それを生かした地域活性化を関係者と連携して応援していきます！

※酒造好適米とは…

たんばく質・脂肪含量が少なく、心白ができるのが特徴です。一度は生産が途絶えたものの復活した「祝^{いわい}」や「五百万石」が京都府下で栽培が奨励されています。また、酒造適性に優れた「京の輝き」が平成24年に品種登録されました。府市協調して酒米の振興をしています。



質の高い伏流水が豊富な伏見。今年度伏見三栖^{いづみ}地区では、6戸の農家が酒造好適米「祝^{いわい}」の栽培に初挑戦します。収穫された酒米は伏見の酒蔵で醸造され、冬にはオール伏見の日本酒が出来る予定です。さらに、栽培と同時に年間を通した市民参加型の取組が企画され、その第二弾の田植えイベントが6月7日に行われました。市民約30名が参加し、地元神社の宮司さんによる御祈禱から始まり、約6^りの田に手植えした後は全員でお弁当と振舞い酒、農家お手製のチマキを楽しみ、大満足の日となりました。



〔田植えイベント〕雨の中でも熱心！



古都の田園風景を守る嵯峨地区でも平成8年から、棚田が美しい嵯峨越畑地区でも平成14年から「祝^{いわい}」を栽培し、伏見区の酒蔵と連携してオリジナルの日本酒が造られています。どちらも酒米を栽培するところから日本酒ができるまでを体験し、参加する市民は、思い入れのある日本酒を毎年心待ちにされています。



〔酒蔵見学〕お酒の完成も間近！

京の旬野菜「時待ち食」歳時記⑤

く九月（長月）く

季節の変わり目に邪気を祓^{はら}い、作物から力をもらう

「菊の節句」と「栗の節句」

9月9日は、古代中国の陰陽思想に基づき、陽（奇数）の中でも一番大きな数字が重なる日という意味で「重陽の節句」と呼ばれています。この日は別名「菊の節句」とも呼ばれ、かつて宮中では、長寿祈願と厄除けを願い、菊に因^よる行事が行われました。今でも、嵐山の虚空蔵^{こくそうざう}法輪寺^{ほうりんじ}などにおいて、菊酒を飲み、菊花と菊に被せて露で湿らせた綿を供える法要や菊酒の振舞いが行われます。

さらに、「重陽の節句」は「栗の節句」とも言い、旬を迎えた栗と新米で栗飯を炊くほか、各地で農産物の収穫を祝う祭りが催されてきました。祭で執り行われる奉納相撲は五穀豊穡を祈る神事としての性質もあり、基本的な所作である四股は、土中の邪気を祓う儀礼として重要です。また、土俵中央には、清めの塩や洗米、勝栗等の6種類の縁起物が鎮められます。古代中国の思想や行事が日本に伝わって宮中儀礼となり、日本古来の農耕儀礼と交わってできた「節句」のならわしは、農作業の手をしばし休め、邪気を祓い季節の作物から力を頂く日として、今に守り継がれています。

合併記念の森に 「京北消防ヘリポート」が完成！

右京区京北地域には、市民や企業と共同で森づくりを進めている市有林「合併記念の森」があります。京都市では、京北地域の救急救命体制を強化するため、この森に緊急用のヘリポートを整備し、4月から運用を開始しました。



この施設は、消防局、都市計画局、そして、「合併記念の森」を管理する産業観光局との協同で整備され、産業観光局は、整備の主要な部分である土木工事を担当しました。ヘリポートに必要な規格を満たすことは当然のことながら、ゴルフ場開発で削られた高台の利用や、自生する植生を緑化に使用する工法を採用するなど、「合併記念の森」の整備計画に配慮した工事を進めました。

運用開始月からすでに、「あたご」「ひえい」二機の消防・救命用ヘリコプターが、この施設を利用しており、京北地域の安心・安全を守る施設のひとつとして活躍しています。



鳳徳小学校に整備した机や椅子

京都市では、平成25年度に「京都市公共建築物等における木材利用基本方針」を策定し、京都市の地域産木材である「みやこ杣木」の利用を推進しています。昨年度の主な取組について2事例をご紹介します。

◆市内44校の小学校等の学校図書室に、「みやこ杣木」を使用した、机や椅子等を取り入れました。

実際に図書室を利用した児童達からは「木の温かみを感じられる」「部屋が明るくなった」などの声が聞かれました。

図書室の利用の増加につながればと期待されています。

◆また、「バスの駅」設置事業の一環で、清水道と南太秦に設置された「バスの駅」にも「みやこ杣木」を使用しました。

南太秦では、京町家をイメージした意匠となっており、京都市域産材供給協会から材料の一部を無償提供いただき、北山丸太を印象的に使用しています。

清水道は、最近木材の新たな活用方法として注目を集めているCLT(直交集成板)を構造材として使用し、東山界隈の街並みにマッチしたデザインとなっています。

みなさまも、近くにお立ち寄りの際は是非「バスの駅」をご利用ください。



バスの駅（清水道）

「木の文化を大切にふるまうまち・京都」の実践

京都市の農業や林業の現地情報、市民の皆様役に役立つ情報を随時紹介しています。

【農林振興室ホームページ】

<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/32-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

京のあぜ道

検索



京都市